

見えないゴールに向かって走り続けるような日々
に、一筋の道を指し示す妊活の伴走者(1/3)



妊活経験者として精神面・経済面の不安に 寄り添い、妊娠しやすいコンディションづくり をサポート

新しい家族の誕生を願うカップルが、医学的な治療と並行して、妊娠
へ向けて心身のコンディションを整える“妊活”。

「課題となるのは、経済的、精神的な負担、そして情報の乏しさで
す。中でもパートナー双方に医学的な異常が認められないのに、なか
なか赤ちゃんが授からないというケースでは、日常生活で何に気を付け
ればいいのか分からず、不安でいっぱいでしょう」

切実な思いと不安に満ちた道のり を知る妊活の専門家

かわもと鍼灸整骨院2号店

川本将広



072-697-9734

事業内容

はり
きゅう
整骨
美容鍼

そう話すのは「かわもと鍼灸整骨院」の院長、川本将広さん。鍼灸・柔
道整復師として20年以上の実績を持ち、2008年から茨木市郊外で施
術院を営んでいます。

肩こり、腰痛、手足の捻挫や打撲など体の不調全般に対応。女性特
有の冷えの解消に向けての施術とアドバイスに定評があり、遠方から1
時間以上かけて訪れる人も珍しくないそうです。

2022年には、妊活を視野に入れて通う人の「もっと日常的に利用した
い」という声に応え、交通の便の良いJR茨木駅前2号店をオープン。
午前と午後2店舗間を行き来して施術を行っています。

「実は私自身も、6年間の不妊治療の末にようやく2男を授かった妊活
体験者なんです。戸惑う気持ちや経済的な不安など、みなさんと同じ
心の揺れを感じてきました」

ヒーリングで心の内にたまった思いを受け止めると共に、基礎体温表
を細かく分析。一人一人の課題を明確にします。

「おなかや足の経絡にアプローチして血流を促し、遠赤外線機器『サ
ンピーマー』を使用して体を内部から温めます。計画的に取り組めるよ
う、自宅のできるお灸も用意しています」

プロフィール詳細、取材記事、コラム等はQRからご覧ください



見えないゴールに向かって走り続けるような日々
に、一筋の道を指し示す妊活の伴走者(2/3)



「子どもを授かりたい」切実な思いに応えるため、妊活に特化した2号店をオープン

大学卒業と同時に東洋医学の専門学校へ進んだ川本さん。鍼灸院に勤めながら実践を重ね、8年後には地元にて施術院を開院しました。

「独立前に結婚。すぐに授かると思っていた子どもになかなか恵まれず、夫婦で話し合っただけで医療機関で不妊治療を始めました。あわせて、私の持つ東洋医学の知識を日常生活に取り入れ、コンディションを整えることに注力しました」

切実な思いと不安に満ちた道のり
を知る妊活の専門家

かわもと鍼灸整骨院2号店

川本将広



072-697-9734

事業内容

はり
きゅう
整骨
美容鍼

ほどなく、前向きにチャレンジし続ける難しさを身をもって知ることになります。

自信が持てず大きく浮き沈みする気持ち、これまで経験したことのない複雑な感情の波が押し寄せるようになります。

「自分たちの状況にマッチする前例がないか、やみくもに情報を探したり、自らを責めたりしてしまうんです。そのうち、ご利益がありそうな神社仏閣に子宝祈願に参ったりもしましたね。専門家らしくありませんが、利用者さんと関西のおすすめパワースポットの話で盛り上がることもあるくらいです」

一方、夫婦で取り組んだ内容は、期せずして妊活をテーマとする詳細なデータを川本さんにもたらしました。

「妊娠中も当院でサポートできることはありますが、皆さん、おなかの赤ちゃんのことを第一に考え、遠出を控えて慎重に毎日をご過ごされていたようです。遠方から来られる人も少なくないのは、それだけ当院に少なからぬ期待を託してのことと、身の引き締まる思いでした」

少しでも負担を減らすため「アクセスの良い場所に2号店を」の念願がかない、一層の意気込みを見せています。

プロフィール詳細、取材記事、コラム等はQRからご覧ください



見えないゴールに向かって走り続けるような日々
に、一筋の道を指し示す妊活の伴走者(3/3)



大人だけでなく成長期の子どもたちにも、自身の力でできる体づくりをアドバイス

「医療分野ではタイミング法、人工授精、体外受精など選択肢があります。どの治療法をとるにしても、母体が十分に受け入れられるだけの準備を整えていることが大事です」と川本さん。毎日の暮らしの中で、主体的に続けられることがあると言います。

切実な思いと不安に満ちた道のり を知る妊活の専門家

かわもと鍼灸整骨院2号店

川本将広



072-697-9734

事業内容

はり
きゅう
整骨
美容鍼

「例えば子宮内の環境を整えたり、良質な卵子を育てるために、血流を促し細胞を活性化するといったことは、服薬や注射と違ってご自身の力でできる手だての一つなんです」

現在は、子育ての難しさにも直面していると言う川本さん。「不妊治療や妊活経験者にありがちかもしれませんが、どうも息子たちの生活に干渉しすぎているようですね」と反省気味の様子。

週末には少年野球チームのコーチとして、指導にも熱が入ります。「息子たちに限らず、成長段階にある子どもたちにはスポーツシーンでも配慮が必要」と、競技のフォームやトレーニングで「4スタンス理論」に添った体の動かし方をアドバイスしています。

「人間の体には、生まれつき4通りの重心のタイプがあり、体を動かすときの軸の角度や各部が最大限のパワーを生み出す形などが異なるという考え方です。ケガのリスクを避け、丈夫な体づくりのためにもサポートの手は抜けませんね」

開業当初から続けている介助犬・盲導犬のボランティア活動にも、川本さんの「命に向き合う姿勢」が見受けられます。

「妊活は見えないゴールに向かって走り続けるようなもの。伴走しながら、不安を一つずつ和らげるお手伝いをしたいですね」

(取材年月:2023年3月)

詳しくはWEBへ <https://mbp-japan.com/osaka/kawamoto/>
プロフィール詳細、取材記事、コラム等はQRからご覧ください

